

共済と保険

一九八四年七月号 目次

券頭言・民・簡保・共済の性格と課題 (八)

日本人の宿命 近藤達美

—転作に反対する—

(一〇)

漁船事故防止の対策樹立について 浅野長光

(一六)

交差点

△対談▽

県民共済をめぐつて (一六)

正木萬平 (埼玉県民共済専務)
根立昭治 (日本大学教授)

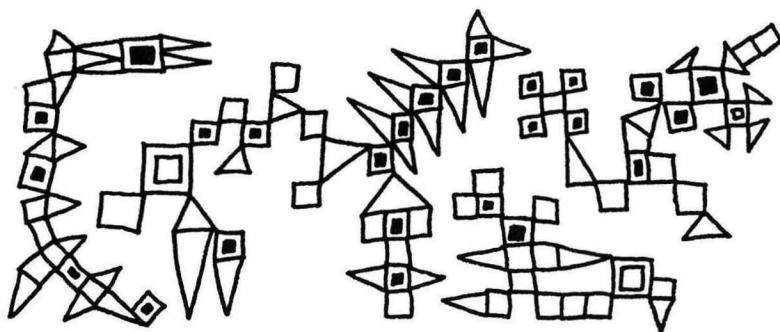
△第九回共済研究会▽

再保険について 布施博雄 (二九)

コメント 飯村篤 (三六)

△論調▽

飢餓アフリカの自助へ支援を
変化の時代に必要な生涯設計
自殺の免責期間 (五一)



△時言月評▽

(四一)

▽金を貸したい▽自由化すると保険会社はつぶれるか
▽男女とも長寿世界一▽保険犯罪がふえている▽木瀬農協を訪ねて

△リポート▽

漁業共済二〇周年.....(三九)

上鳥羽だより(26)

見舞の心・病院の心.....五木田和次郎(五五)

本・講案保険総論

協同組合の拓く町.....(六〇)

グラフ・サラリーマンの年齢別收支状況.....(六)

ことば・経営刷新の前提.....(七)

漁協共済・共水連五八年度実績と次年度計画
保 险 界・民保の五八年度収保実績／団体定期保険にも「年金特約」／
隣接業界との提携商品相次ぎ登場／積立型新保険四社で発

：(六一)

壳

編集後記

(七四)